

英語科学習指導案

日 時 平成17年9月29日 (木) 5校時
学 級 1年(男子5名 女子6名 計11名)
授業者 重茂 磨利

1 単元名 「 Unit 6 南半球からのメール」

2 単元について

(1) 教材観

Unit 6 は、マークと由美がオーストラリアに住んでいるマークの姉のベッキーについてアルバムや、メールを見ながら会話している場面である。話題が日本からオーストラリアに移るので、興味・関心を持続させて、オーストラリアの気候などについて話題にしていきたい。また、日本語を学ぶ人が多いことなど、日本とオーストラリアの関係についても触れていきたい。

これまで言語材料としては、一人称、二人称についての表現や「This is ~ . . .」「That is ~ . . .」「WH 疑問文」を学習しているが、この単元では英語独特の表現である三人称単数現在の s (es) や、「Does/doesn ' t」を用いた疑問文・応答文・否定文が導入される。

Unit 5 で複数形について学習しており、三人称単数現在の s (es) の読みについてはスムーズに導入できると考えるが、用法については混同しないように指導しなければならない。また、do/does を用いたときに、動詞が原形になることなど、繰り返し学習の必要な言語材料である。

(2) 生徒観

授業には、明るく積極的な態度で臨んでいる。英単語の読み練習、音読練習、インタビュゲーム、単語調べなど興味を持って取り組んでいる。「基本文を言えるようにすること」を夏休みの課題としたが、6人がほぼ言えるようになった。一方、一般動詞と be 動詞の使い分けがまだ定着していない生徒、アルファベットの文字と音声的一致していない生徒、個別に配慮しなければならない生徒がいる。朝自習や昼の質問タイムでは書き方、読み方を中心に練習しているが、単語の繰り返し学習などの補充学習も行っていく必要がある。

(3) 指導観

徐々に語数も増えて、文字をきちんと覚えていなければ読みこなすことも難しくなってくる時期である。アルファベットの文字と音声的一致していない生徒もいるので、単語の導入時にフラッシュカードを有効に活用したり、教科書の音読の際に文字と音声と結び付けていく活動を取り入れていきたい。また、本文の暗唱を行うことで、文字を見て読む力や視写を通して書く力を養っていきたい。

3 単元の目標

[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

- ・ モデルの発音を真似して、ペア練習などに積極的に取り組む。

[表現の能力]

- ・ 人物について紹介したり、紹介文を書くことができる。また、尋ねられたことについて適切に応じることができる。

[理解の能力]

- ・ 人物について読んだり、聞いたり、質問された内容を正しく理解することができる。

[言語や文化についての知識・理解]

- ・ 三人称単数現在のときの動詞の形や、Does、doesn't の用法を知る。
- ・ オーストラリアの人々や気候などについて知り、関心を持つ。

4 指導計画と評価規準

(1) 指導計画

| | | |
|------------------------------|--|--------------------------|
| 「 1 人について紹介しよう 」 | Becky likes Japan. | ・・・ 2 時間 |
| 「 2 メールを見て 」 | Does she write haiku ? Yes, she does. No, she doesn't. | ・・・ 2 時間 (本時 2 / 2) |
| 「 3 メールを見て 」 | Becky doesn't use English. | ・・・ 2 時間 |
| 「 まとめの練習 」 | | ・・・ 1 時間 |
| 「 Listening Plus 2 外国からの友達 」 | | ・・・ 0 . 5 時間 |
| 「 Speaking Plus 3 道案内 」 | | ・・・ 1 . 5 時間 |
| 復習 | | ・・・ 2 時間 |

(2) 評価規準

| 単元の目標 | | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 表現の能力 | 理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |
|--|--------|---|-------|--|--|
| Unit 6 南半球からのメール オーストラリアに住む姉についての対話を読んで、オーストラリアの人々、気候について理解を深める 三人称単数現在 場合、動詞の形や文がどのように表現されるかを理解 | 聞 く | (言語活動への取り組み) 教師や他の生徒の発表などを注意深く聞こうとする。 (コミュニケーションの継続) 分からないときは聞き返すことができる。 | | (正確な聞き取り) CD や教師、他の生徒の英語を聞いて理解することができる。 | (言語についての知識) 動詞の原形を知っており、三人称単数現在の s (es) がついたものを聞き分けることができる。 |

| | | | | | |
|--|----|--|--|--|--|
| し、人について紹介したり、たずねたり答えたりできるようにする。 | 話す | (言語活動への取り組み) モデルの文を真似して積極的に発音練習したり、ペアなどで練習する。 (コミュニケーションの継続) 習った表現を用いて英語で会話をしようとする。 | (正確な発話) 音調や発音に注意してモデルの英語を真似て対話することができる。 (適切な発話) 相手の英語を聞いて、適切に英語で対応することができる。 | | (言語についての知識) 三人称単数現在の場合の動詞の形や、文の形、s(es)の発音の仕方を理解している。 |
| | 読む | (言語活動への取り組み) 教科書の本文を意欲的に黙読、音読しようとする。 (コミュニケーションの継続) 分からないところがあっても、調べたり、推測して読み続けようとする。 | (正確な音読) モデルの読み方を真似て、英語らしい発音で本文を音読できる。 (適切な音読) スピードに注意して、相手が聞き取れるように気持ちをこめて読むことができる。 | (正確な読み取り) 本文の内容についてたずねられた事柄に正しく答えることができる。 (適切な読み取り) 本文の大切な事柄について読み取ることができる。 | (言語についての知識) 三人称単数現在の文でのs(es)の発音や、疑問文、応答文の音調についてわかる。 (文化についての理解) オーストラリアで日本語の勉強をしている人が多いことや、季節が日本と逆であることを理解している。 |
| | 書く | (言語活動への取り組み) 辞書を使いながら自分の書きたい事柄を丁寧に書こうとしている。 (コミュニケーションの継続) 分からない語を調べて書き続けようとしている。 | (正確な筆記) 習った表現を英文のきまりに従って、正確に書くことができる。 (適切な筆記) 自分の書きたい事柄を習った表現を使って豊かに表現できる。 | | (言語についての知識) 三人称単数現在の動詞の形や、文の形を知っている。 |
| 単元の目標 | | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 表現の能力 | 理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |
| まとめの練習1 人について話そう1 be動詞と一般動詞の文の形について理解する。 | | (言語活動への取り組み) 学んだ表現を思い出しながら積極的に発言したり、答えを書こうとする。 | (正確な筆記) 学習した内容をもとに正しい英文を書くことができる。 | | (言語についての知識) be動詞と一般動詞の文の形が分かる。 |
| 単元の目標 | | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 表現の能力 | 理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |

| | | | | | |
|--|--------|--|---|---|---|
| Speaking Plus 3 乗り物での行き方を尋ねたり、教えたりできるようにする。 | 聞 く | (言語活動への取り組み) 対話の内容に真剣に耳を傾け、どんな対話が聞き取ろうとする。 (コミュニケーションの継続) 全体が分からなくても知っている語句を聞き取り、意味を推測しようとする。 | | (正確な聞き取り) 対話を聞いて内容を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) 大切な部分を逃さず聞き取ることができる。 | (言語についての知識、理解) 疑問詞の意味を理解している。 |
| | 話 す | (言語活動への取り組み) モデル対話を参考に、乗り物での行き方を尋ねたり、教えたりしようとする。 (コミュニケーションの継続) 分からないことについて説明を求める。 | (正確な発話) 基本表現を使って正しく乗り物での行き方を尋ねることができる。 (適切な発話) 尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 | | (言語についての知識、理解) 疑問詞の文中の位置や、語尾が下がることについて、また、答え方について理解している。 |

5 本時について

(1) 目標

「2 メールを見て」の対話を聞き、内容について理解することができる。(聞くこと) [理解の能力]

モデルの発音を真似て英語らしい発音で本文を暗唱できる。(読むこと) [表現の能力]

(2) 具体の評価規準

| | A (十分満足できる) | B (おおむね満足できる) | C (「努力を要する」と判断される生徒への支援) |
|-----------------|---|--|---|
| 理解の能力 (聞くこと) | ・ 本文のCDを聞き、読み取りのプリントの質問に正しく答えるとともに、書かれている内容について説明できる。 | ・ 本文を聞いて読み取りのプリントの質問に3つ以上正しく答えることができる。 | ・ 写真、絵、単語等を提示し、場面を理解させながら内容を理解させる。 |
| 表現の能力 (読むこと) | ・ 発音やイントネーションに注意しながら、対話文を全文暗唱できる。 | ・ ほぼ正確な発音やイントネーションで対話文を暗唱することができる。 | ・ 文字を読むことができるように個別指導を行う。 ・ グループの仲間の援助も呼びかける。 |

(3) 指導の構想

本時は、学習目標の焦点を本文の暗唱に絞り、進めていく。課題設定では、まず本文を音読のみで提示し、本文の全体像をつかませる。さらに「詳しい内容を理解したい」という意欲を高めることにより本時の学習への興味・関心を高める。その後、新出語句の導入を行い、さらに、本文を再び示し、聞き取りによる概要把握を行なう。その際、プリントや絵、フラッシュカード等を活用し、最後は教科書で確認する。段階を踏むことで、興味・関心を持たせながら授業展開していく。最終的には、本文を暗唱させ、発表させたい。そのために、全体音読練習、個人練習、対話練習などを用い、様々な練習方法を取り入れ学習意欲を高めながら暗唱させる。暗唱文は、ロールプレイ等により発表させ、仲間同士の評価により表現力を高めさせたい。

(4) 展 開

| | 学 習 内 容 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点(・)教師の支援()評価の観点 |
|-----------------------------|---|--|--|
| 導入 5分 | 1 挨拶 2 復習 3 学習課題の設定 | 1 英語での挨拶をスムーズに行う。 2 前時の学習の人物について尋ねる表現を復習する。 3 学習課題を設定する。 | ・ 挨拶で授業の雰囲気作りをする。 ・ 大きな声で自信を持って発表させる。 |
| 由美とマークになりきって英語で対話しよう | | | |
| 展開 40分 | 4 新出語句の練習 5 本文の内容理解 6 音読、暗唱練習 7 発表 | 4 フラッシュカードを見ながら繰り返して練習する。 5 本文のCDを聞き内容を理解する。 (1) 文章全体を聞き、内容を把握する。 (2) プリントにより、聞き取った内容を確認する。 6 本文の音読練習をする。 (1) 全体練習をする。 (2) 個人練習をする。 (3) 対話練習をする。 (4) 暗唱をする。 7 暗唱発表をする。 (1) ロールプレイによりグループ毎に発表し合う。 (2) 全文を暗唱した生徒に発表させる。 | ・ 俳句の意味を理解させるために、オーストラリアの季節について触れる。 ・ 口頭ドリルの繰り返しにより自信を持って発音させる。 ・ 発音できるようになったことを、確認する。 ・ 本文を提示し、CDを聞かせる。 ・ 期間巡視により、理解の様子を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本文の内容を聞いて理解することができたか。【理解の能力】</div> ・ 全文が暗唱できない生徒にはできるところまで暗唱させる。 暗唱できない生徒には個別に支援する。また、グループによる教え合いで援助させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">モデルの読み方を真似て、英語らしい発音で本文を音読、暗唱できたか。【表現の能力】</div> |
| 終末 5分 | 8 振り返り 9 次時の予告 10 挨拶 | 8 自己評価、感想を記入し、発表させる。 9 次の学習課題を確認する。 10 元気な挨拶をする。 | ・ 家庭学習のヒントを与えて意欲的に復習に取り組みさせる。 |